
ハイブリッドキャストを使用した 4K 映像のライブストリーミング実験

～「メ〜テレ秋まつり 2016」で公開デモンストレーションを実施～

メ〜テレ（名古屋テレビ放送）は、9月24日（土）・25日（日）の2日間、名古屋市中区の久屋大通公園一帯で開催する「メ〜テレ秋まつり 2016」において、ハイブリッドキャストを使った「4K ライブストリーミング」のデモンストレーションを実施します。3台の4Kカメラを使って撮影した映像を4Kライブストリーミング映像に変換し、会場のハイブリッドキャスト対応4Kテレビで受信します。

放送を取り巻く環境が目まぐるしく変化する中、メ〜テレは「次世代放送の先進局」を目指し、2014年よりフルHDの4倍の解像度を持つ「4K」や「ハイブリッドキャスト」などの新しい放送技術に取り組んできました。

メ〜テレ主催の恒例イベント「メ〜テレ秋まつり」では、2014年より2年連続で大型の4Kモニタを会場に設置し、イベントでの演出に活用するとともに高精細な4K映像を来場者にご覧いただきました。

さらに今年の「メ〜テレ秋まつり 2016」では、新たに2つの取り組みを実施します。

（1）4Kライブ制作

大型中継車を使わず機動性の高い4K機材を駆使した4Kライブ制作を実施します。会場内の「光の広場」に3台の4Kカメラを設置しライブスイッチ、この映像をステージに設置した4K対応180インチマルチモニタに上映するとともに、4Kライブストリーミング映像として配信します。

（2）ハイブリッドキャストを使用した4Kライブストリーミング（デモンストレーション）

メ〜テレは2016年3月、このエリアでは初めて、ハイブリッドキャストによる4K同期放送（※）を実施しました。この取り組みで蓄積したノウハウを活かし、今回の「メ〜テレ秋まつり 2016」では「4Kライブストリーミング」を実施します。会場にエレメンタル製ライブエンコーダーを持ち込み、H.265@20Mbpsの4K映像にエンコード。その映像をクラウド上のウェブサーバーを経由して、会場設置のハイブリッドキャスト対応4Kテレビで受信します（会場敷設の光回線の混み具合によっては、クラウドではなくローカルサーバーでのストリーミングデモとなります）。

（※）「4K同期放送」について

地上デジタル放送（HD画質）と並行し、同内容の4Kコンテンツを通信回線で配信、ハイブリッドキャストの技術を使って放送2Kと通信4Kの切り替え視聴を可能にすることで、放送と通信を同期した映像配信を実現します（完全な同期ではありません）。

今回の取り組みは、現行の地上波放送と通信による4K映像の連携を想定したもので、将来の新たな4K伝送路の研究として実施するものです。

【4K ライブストリーミング公開デモンストレーションについて】

- 実施場所：メ〜テレ秋まつり 2016 会場 光の広場
※晴天の場合はメインステージ広場設置のセンターカメラ付近
※雨天の場合はメインステージ正面向かって左側のテント内
- 実施時間：9月24日(土)：正午～午後5:00頃まで
9月25日(日)：午前10:30～午後5:30まで
- 機材協力：シーティーシー・エスピー株式会社、エレメンタルテクノロジーズ、
ブラックマジックデザイン株式会社、ヒョウゴベンダ
- 展示協力：IPTV フォーラム、日本放送協会 ※DashNX プレイヤーの技術面を協力いただきました。

＜メ〜テレ秋まつり 2016 概要＞

- タイトル：メ〜テレ秋まつり 2016 <http://www.nagoyatv.com/akimatsuri2016/>
- 開催日：9月24日(土)・25日(日) 午前10:00～午後6:00 両日雨天決行
- 会場：久屋大通公園（久屋広場・エンゼル広場・光の広場）
- 主催：メ〜テレ
- 後援：名古屋市、名古屋商工会議所、一般社団法人 中部経済連合会、朝日新聞社、日刊スポーツ



4K ライブスイッチ使用機材



4K 対応 180 インチマルチモニタ

以上